

輝く 海外の日本語教師 アメリカ



ニューヨークの町を一人で歩いていて
「ここで働きたい」と思った
その願いを実現させてくれた人たちに感謝

勝山 祐未 (かつやま ゆみ) さん

茨城県出身。昭和女子大学人間文化学部英語コミュニケーション学科卒。日本語教育を副専攻として修了。会社の長期休暇を利用してアメリカへ一人旅したとき、ニューヨークの町を歩いて、「ここで働きたい」と強く思った。帰国後、その手段を探り、日本語教師という職に出会う。勤めながらアルファ国際学院の日本語教師養成講座に通ううちに、インターネットで、ニューヨーク州ヴァッサー・カレッジでの職を見つけて応募。2011年8月から赴任している。

名門ヴァッサー・カレッジで

に送るなど、とても一人ではできないことも多く、アルファの皆さんの協力で、無事、通過することができました。ここまで親身になって就職サポートしてくれる学校を選んで、本当に良かったと思っています」

アメリカ、ニューヨークで働く！しかも、大学で日本語教師として!! 誰もがうらやむ身分だろう。しかし、このポジションは簡単に与えられたものではない。勝山祐未さんが、苦勞の末、手に入れたものなのだ。「ニューヨークで就職したいとアルファのスタッフに相談したところ、アメリカの求人多数掲載されているサイトを教えていただき、その中に現在の大学での求人を見つけ、応募しました。

ただ、決まるまでの道のりは簡単ではなく、書類選考を含めた一次選考の後には模擬授業を撮影して現地

勝山さんが現在、日本語を教えているのは、ヴァッサー・カレッジには八つの言語学部があるが、その中で中国・日本語学部は、毎年、不動の人気を保っているのだという。たくさんいる学生の中で、勝山さんが受け持っているのは、初級(約四〇人、主に一年生)、中級(約二〇人、主に二年生)、上級(約一〇人、主に三年生)。授業は、週三日、五コマになる。

「学生の興味は、やはりアニメ。日本人の私よりずっと詳しいんです(笑)。アニメの翻訳家になりたいとはっきりした希望を持っている学生



もいます。日本の映画、音楽、文化が好きという学生、また、日本語のゆつくりした音そのものが好きだという学生もいます。学生たちの学ぶ姿勢は、とても熱心で、さすが最難関校の学生だと感心します」

学生との触れ合いが エネルギー源

授業以外にも、テストの採点、授業の準備、Language Table(学生と日本語で話しながら食事をする会)への参加など、日々忙しい勝山さんが楽しみにしているのが、週一回の

カラオケクラブ。学生たちは日本語の歌(特に、アニメの主題歌が人気)を、実に上手に歌うのだという。学生との触れ合いは、勝山さんのエネルギー源になっている。「初級と中級のクラスでは、英語で授業をすることもありますが、それにアメリカ人の大勢の学生を相手に話すには、かなりテンションを上げて臨まなければならない。最初のうちは大変でした。でも、学生から「今学期の授業はとて面白いです」と言われたときは、本当にうれしかったです。より良い、楽しい授業ができる

ようがんばろう!と、気合いが入りました」 「ニューヨークで働きたい」という思いを実現した勝山さん。「自分の願いを自分の手で叶えた」という充実感は大変大きい。そして、周り自身を支えてくれている人たちへの感謝の気持ちも日々大きくなっている。「大震災以後、改めて、日本を掛けがえのない大切な国だと思ふようになりました。外国人に日本語を教えることは、日本人の代表として日本の良さや文化を伝えること。それが私の役目だと思っています」



図書館棟。ヴァッサー・カレッジは、元女子大学で、作家ジーン・ウェブスターは卒業生。「あしながおじさん」は、ここでの経験をもとに書かれているという。このキャンパス内の寮に、勝山さんは住んでいる。優秀で熱心な学生たち。ハドソン川に架かる、ミッド・ハドソンブリッジ。サセットレイク。

●アメリカの日本語教師

機関数 1,206 機関
教師数 3,541 人
学習者数 141,244 人

(日本語教育学会「日本語教育の現状」(2009年)より)

●日本にいるアメリカ人

50,567 人 (2009年統計)

勝山祐未さんが通った

日本語教師養成講座
アルファ国際学院 東京本校
東京都港区虎ノ門1-2-8 22 階
http://www.alpha.ac.jp/
電話 03-3504-8080